

ポルトガル月報

2024年3月

(本月報は月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

【主要ニュース】

【内政】★共和国議会選挙の実施

★大統領による次期首相の指名

【外交】★ウクライナへの新たな支援パッケージの発表

★国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）への追加支援発表

【経済】★2023年の財務黒字の発表

(上記主要ニュースには以下本文にて★が付されている)

(注) 報告記事中の肩書きは当時のもの

内政

●コスタ首相、ポルトガル製超小型人工衛星の打ち上げ成功について発言

3月4日、ポルトガルが30年ぶりに、2機目の超小型人工衛星の打ち上げに成功した。ロケット「ファルコン9」に搭載された4.5キロのポルトガル産超小型衛星「Aeros」は、3月4日14時5分に米国スペースX社のバンデンバーグ基地から打ち上げられた。複数の企業や学術機関（ポルト大学、アルガルヴェ大学、ミーニョ大学等）からなるコンソーシアムによって設計・運用された同超小型衛星の打ち上げ成功は、1993年のポルトガル初の小型衛星「ProSat1」以来30年ぶりとなる。コスタ首相は、「ポルトガルの宇宙史上、2番目の衛星の打ち上げに成功した。「Aeros」の打ち上げは、ポルトガルの宇宙分野への戦略的コミットメントを象徴するものである。宇宙分野での技術開発は、同分野のために近年整備された法的枠組みと同様に、非常に重要なものである。同プロジェクトに直接的、間接的に関わった全ての学術機関及び企業関係者に祝辞を送る。」と述べた。

★共和国議会選挙の実施

3月10日、共和国議会議員選挙が行われた。選挙の結果、社会民主党（PSD）を中心とした政党連合である民

主同盟（AD）が230議席中80議席を獲得し第1党となり、現与党の社会党（PS）は78議席を獲得し第2党となった。第3党で選挙前は12議席を有していたシェーガ党（CH）は50議席を獲得し躍進した。政党別得票率及び獲得議席は以下のとおり。また、投票率は59.84%となり、前回2022年の数値（51.42%）を上回った。

【選挙結果】（）は前回2022年選挙の数値

政党	得票率	獲得議席数
民主同盟(AD)*	28.84% (29.24%)	80(78)
社会党(PS)	28.00%(41.50%)	78(119)
シェーガ党(CH)	18.07% (7.28%)	50(12)
リベラル主導党(IL)	4.94% (4.88%)	8(8)
左翼連合(BE)	4.36% (4.42%)	5(5)
統一民主同盟** (CDU)	3.17% (4.29%)	4(4)
自由党(L)	3.16% (1.35%)	4(1)
人と自然と動物の党(PAN)	1.95% (1.64%)	1(1)

*社会民主党（PSD）と民衆党（CDS-PP）の連合

**ポルトガル共産党（PCP）・緑の党（PEV）の連合

★共和国大統領による首相指名と首相就任式の実施

3月21日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、3月10日に行われた共和国議会選挙で第1党となった民主同盟（AD）のルイス・モンテネグロ社会民主党（PSD）党首を次期首相に指名した。モンテネグロPSD党首は、首相指名にあたり、「ポルトガル国民の意思を尊重する」と述べ、経済成長、給与改善、保健医療サービスの向上などを取り組む課題として挙げた。その後、4月2日に就任式が行われ、4月10日に政府綱領の提出がなされる予定。

●アントニオ・コスタ政権最後の閣議の開催

3月25日、アントニオ・コスタ政権最後の閣議が開催された。コスタ首相は、同理事会に参加したレベロ・デ・ソウザ大統領に対し「過去8年間の協力と結束」に感謝する旨を述べた。なお、閣僚理事会では主に復興・強靱化計画（PRR）について意見交換がなされた。

●共和国議会議長の選出

3月26日及び27日、共和国議会にて新たな共和国議会議長選出に関する投票が行われ、4度目の投票の結果、アギアール＝ブランコ元国防大臣（PSD）が新たに共和国議会議長として選出された。4度目の投票の前に行われた、ルイス・モンテネグロPSD党首及びペドロ・ヌノ・サントスPS書記長の協議の結果、共和国議会議長の任期（4年）を前半・後半に分けPSD及びPSがそれぞれ議長ポストを務める合意に達したため、2024年9月まではアギアール・ブランコ元大臣が議長を務め、それ以降は社会党（PS）から議長を選出する。

●マデイラ自治州議会における自治州議会選挙の決定

3月27日、大統領府は国家評議会を開催し、マデイラ自治州議회를解散し、自治州議会選挙を5月26日に行う旨を発表した。レベロ・デ・ソウザ大統領は、前回の自治州議会選挙（2023年9月24日）から6か月経過した3月24日、議会の解散権を得た（当国憲法にて大統領は議会選挙後6か月以内に再度議会を解散できない旨が定められている。）後、同月27日に、現在マデイラ自治州議会で議席を有する政党と協議を行い、同日の国家評議会後に自治州議会の解散及び自治州議会選挙を発表した。

●アントニオ・コスタ首相、首相としての最後の記者会見を実施。

3月27日、アントニオ・コスタ首相は首相官邸にて最後の記者会見を行った。コスタ首相は、金融危機、森林火災、新型コロナウイルス感染症流行、物価上昇といった自身が任期中に直面した4つの問題について振り返った。その後、経済成長、雇用と収入の向上、より有能な国民、競争力のある経済、格差の減少、気候変動分野でのリーダーシップ、国家改革の前進といった、ポルトガルが経験した7つの変化について述べた。最後に「やることはいつもある。解決しないといけないことは山ほどある。政権運営とは、終わりのないミッションである。しかし、ポルトガルは以前より不平等が小さい国となった。私は、首相としての使命のへ達成感をも持って退任する」と締めくくった。

●ルイス・モンテネグロ次期首相、組閣案を共和国大統領に提出。

3月28日、大統領府は、ルイス・モンテネグロ次期首相がレベロ・デ・ソウザ大統領に組閣案を提出し、大統領が同案に同意したと発表した。組閣案には、社会民主党（PSD）の党員を中心に、3名の政党無所属者及び1名の民衆党（CDS）1名が含まれる。また、現欧州議会議員も4名含まれている。モンテネグロ次期首相は、AD政権の2本柱として、政治的経歴を有するパウロ・ランジェール外務大臣兼国務大臣及び財政分野の専門家であるジョアキン・ミランダ・サルメント財務大臣兼国務大臣を選んだ。また、同政権では新たに、青年・近代化省が新設された。閣僚全17人における女性は7人で41%を占める。

外交

●共和国大統領、スウェーデンのNATO加盟に祝辞

3月7日、レベロ・デ・ソウザ大統領は、スウェーデンのNATO加盟について祝福のメッセージを発出した。同大統領は、「NATOの拡大にスウェーデンが加わったことは、欧州全体の安全保障と防衛、平和維持の面での構造を更に強化するものである。スウェーデンのNATO加盟を

断固として支持し続けてきたポルトガルは、同国のNATO加入が北大西洋における欧州防衛の柱の強化に貢献するという確固たる確信の下、この歴史的な拡大を歓迎する」と述べた。

★ウクライナへの新たな支援パッケージの発表

3月14日、ポルトガル国防省は、チェコ共和国が主導する共同調達プログラムに欧州18か国と参加し、大口徑弾薬供給のために1億ユーロを支援することを発表した。同省は、この取り組みの目的は、様々な大口徑弾薬を可能な限り大量かつ迅速に提供することである旨を説明した。これまでに、ポルトガル政府はM113装甲兵員輸送車、戦車レオパルド2A6、医薬品等の支援をウクライナへ提供している。

●アントニオ・コスタ首相の国連本部訪問

3月18日、アントニオ・コスタ首相はポルトガル人美術家であるヴァネッサ・バラガオ氏の「生きている珊瑚」と題されたタペストリーの寄贈式典参加のためにニューヨークを訪問した。国連本部ビルに常設展示されるこの寄贈品により、ポルトガル政府は、ポルトガルの国連への積極的な参加と、海洋分野における国連の主導的役割、そして、より環境に優しく、より安全で、より豊かな未来の構築の必要性を強調した。同地訪問中、アントニオ・グテーレス国連事務総長と会談したコスタ首相は、「国連本部でグテーレス国連事務総長に歓迎されるのはいつも光栄なことだ。そして、今回はお別れを言う機会でもあった。ポルトガルはこれまでも、そしてこれからも、多国間主義と、より公平で豊かな持続可能な世界の構築に尽力する国である。」と述べた。

●クラヴィーニョ外務大臣のカーボベルデ訪問

3月19日、ゴメス・クラヴィーニョ外相は、カーボベルデの年次外交政策会議に特別ゲストとして参加するため、同国を訪問した。クラヴィーニョ外相は、「気候変動と小島嶼開発途上国(SIDS): 今後の課題」をテーマとした今回の会議にて、気候変動における外交の課題について講演を行った。同地訪問中、クラヴィーニョ外相はコレイア・エ・シルヴァ/カーボベルデ共和国首相に表敬訪問を行い、ソアレ

シユ外務・協力・地域統合大臣と会談を行い、両国間の戦略的パートナーシップ構築について意見交換を行った。

●アントニオ・コスタ首相の欧州理事会参加

3月21日、22日、コスタ首相は欧州理事会参加のため、ブリュッセルを訪問した。訪問期間中、ウルスラ・フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長、ロベルタ・メッツォラ欧州議会議長及びNATOのイエンス・ストルテンベルグ事務総長と面会した。

★国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)への追加支援発表

3月22日、ポルトガル政府は、UNRWAへ1000万ユーロを拠出し、ガザ地区とヨルダン川西岸地区における人道支援を強化することを発表した。ブリュッセル訪問中のアントニオ・コスタ首相は「本日、私はアントニオ・グテーレス国連事務総長に対し、UNRWAが適切に機能し、容認しがたい攻撃の犠牲となっているパレスチナ国民に食糧、医薬品、人道支援を提供するため、1,000万ユーロを支援する決議が閣僚理事会で採択されたことを報告した。」と述べた。

経済

●2023年の年間電源構成における再生可能エネルギーの割合発表

3月12日、ポルトガル再生可能エネルギー機関(APREN)は国内の再生可能エネルギーに関するデータを発表した。ポルトガルの2024年2月の電源構成における再生可能エネルギーの割合は83.5%となった。種別では、風力が36.0%、水力が41.8%、太陽光が6.2%、バイオマスが5.7%となった。ポルトガルの電源構成における各月の再エネ割合は下記。

	10月	11月	12月	1月	2月
再エネ割合	73.7%	83.4%	81.3%	80.4%	83.5%

●2023年12月の貿易取引数値の発表

3月9日、国立統計院(INE)は2024年2月の貿易取引量の変化に関する数値を発表した。1月の貿易取引

量は前年同月と比較し、輸出が0.4%増、輸入が4.5%減となった。

●2024年2月の年間消費者物価指数の発表

3月12日、国立統計院は2024年1月の消費者物価指数（CPI）を発表した。同月の消費者物価指数は2.1%となり、前月から0.2%減少した。この数値は、欧州連合統計局によって発表されたユーロ圏の同時期の数値（2.6%）を下回る。ポルトガル及びユーロ圏の過去の消費者物価指数は以下の通り。

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ポルトガル	3.6%	2.1%	1.5%	1.4%	2.3%	2.1%
ユーロ圏	4.3%	2.9%	2.4%	2.5%	2.8%	2.6%

★2023年の財政黒字の発表

3月25日、ポルトガル国立統計院は2023年の財務執行結果を発表した。2023年、ポルトガルは財務省の当初の予測値（0.8%）を上回る、GDP比1.2%の財政黒字を記録した。2022年はGDP比0.3%の赤字であった。2023年の数値は、2019年に達成した1974年以来の財政黒字の数値（0.1%）を大きく上回る。フェルナンド・メディーナ財務大臣は、「これは高い経済成長率、予測より高い雇用率及び給与上昇の結果である。」と述べた。

(了)